

広 報

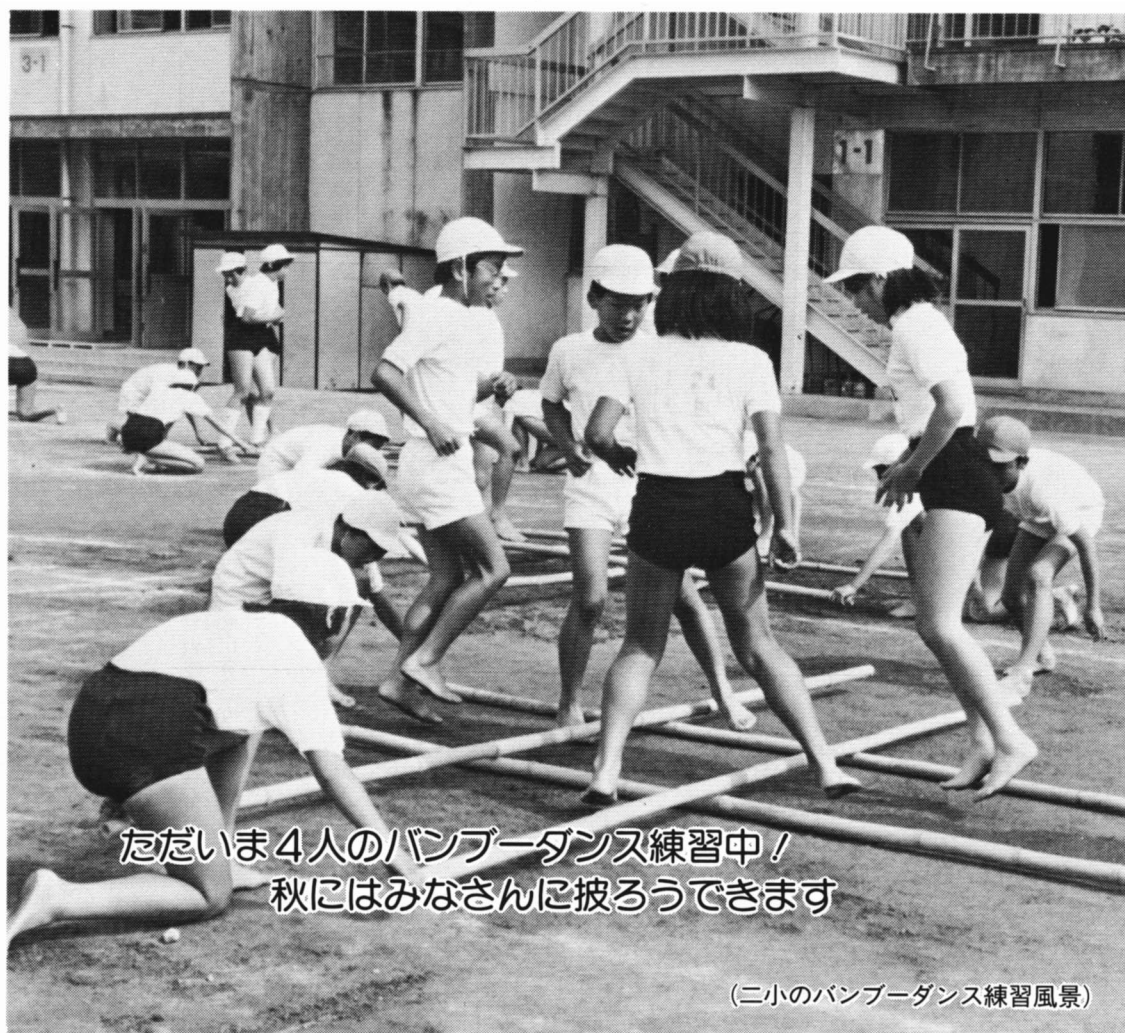
# ふじかわ

## 町のメモ

昭和59年6月1日現在  
人口 17,002人  
増減 -8人  
男 8,355人  
女 8,647人  
世帯数 4,383世帯  
面積 31.09km<sup>2</sup>

6月号 昭和59年6月20日発行 No.275

富士川町 総務課



ただいま4人のバンブーダンス練習中！  
秋にはみなさんに披露できます

(二小のバンブーダンス練習風景)

町のことしの目標  
「笑顔であいさつ明るい町に」

### おもな内容

- 2～3ページ 21世紀を展望した  
町づくりを目ざし  
第二次総合計画がスタート
- 4～5ページ 町のわだい
- 6～7ページ 広報ディスカッション
- 8～9ページ ママさん記者が取材中  
社会教育の課題  
ふるさと探訪
- 9ページ 戸籍の窓、一里塚  
お母さんの“知恵袋”  
富士川短歌会

### 各区のことしの目標

- 「アイディアを生かし豊かな区にしましょう」(室野区)
- 「広げよう親睦の和」(相生町)
- 「健康な心で健康な体力で  
健康な明るい区にしよう」(八幡町)
- 「おはようの笑顔で今日もがんばろう」(清水町)

第一回 策定部会



行、国際化、情報化社会への急激な進展などで、一層多様化するとともに、心の豊かさや郷土愛を強く求めることとなり、これらに対応する行政需要の内容も変化しながら、増えつつあるのが現状です。

このような状況や変動しつつある社会情勢に対応して、今後10年間と迫り来る21世紀の町全体の未来像を展望し、目的達成のための基本的な施策などの土台づくりを、みなさんとともに目ざして、新たな総合計画は策定されていきます。

これから策定されていく第二次総合計画は、昭和70年における町全体の将来像(目標)、および、その目標達成のための基本的な施策を明らかにする基本構想、実現可能な実行計画と長期的視野に基づく展望計画をあらわす基本計画、基本計画に定められた事業の具体的なスケジュールを明らかにする実施計画の三つで組み立てられています。

これらの計画のうち、基本構想や基本計画を作成する組織として、役場内には、この計画づくりの方針、体制、スケジュールについての決定など、総括機能を受け持つ策定会議と、この計画案を生活環境、教育文化・福祉、産業・都市機能、行財政と4つの分科会にわかれ、それぞれ調査、立案する策定部会が設置されました。策定会議は、助役・収入役・教育長・課長(局長・所長・参事・技監)15人で構成され、策定部会は、課長補佐・主幹・係長・主査を中心に26人で構成され、この計画の中に若い力と参画意識を盛り上げ、

富士川町第2次総合計画スケジュール表

作成過程等		役 場	住 民 等
準備	59/～3	企画の立案・検討 策定体制づくり	
調査(4月・8月)	4・5	策定会議開催 ・立案体制・作業企画の合意 ・資料収集・作成 ・住民アンケートの骨子作成 策定部会の開催 ・資料の収集・作成	
	6～8	住民意識調査の実施・回収 策定部会の開催	第1回審議会の開催 団体役員等聴取
立案(9月・10月・11月)	9	報告会(検討会)の実施	
	10	将来像骨子の作成 基本方向の確定	
	10～11	町政を語る会の実施(32区)	
	11～12	策定部会で計画案の立案	計画案立案への参加
調 整	60/4・5	報告会(検討)会の実施 策定部会で計画草案検討 策定会議で内閣案確定 審議会へ諮問 構想議決	策定会議へ答申 県との協議
	10～	実施計画へ	

富士川の土手下、馬坂の道下空地等陰に隠れ、人目につかない場所に、何かしら粗大ゴミ(家電製品、椅子、戸棚の家具等)が散乱しています。先日、私の家でも子どもが大きくなりましたので、部屋を整理しました。粗大ゴミの始末に困り、隣の親戚宅の収集日に捨てさせてもらいました。長年生活していると家族構成も変わり、さまざまな品が出てきます。

町を根本からきれいにするには、空岳、空ビンの処理と同時に粗大ゴミの処理を願います。



太田美美子さん(旭 町)

まい、全部取り替えるはめになってしまいました。

私は、大気汚染はまだ進行していると思います。今一度徹底的な調査を望みます。

とにかく行政とか議会は、人々の関心の高いことには熱心に対応するが、そうでないことには不熱心なように思います。私は住民の健康など、生活の基本にかかわることは流行にとらわれず、着実に進めてもらいたいと思います。

# 21世紀を展望した町づくりを目ざし

## 富士川町第二次総合計画がスタート!



常葉雅文町長

21世紀まであと16年、私たちはまさに世紀の変わり目にさしかかっています。すでに戦後世代が、人口の56パーセントを占め、モータリゼーション、テクノロジーなどという言葉が、使い古された感のある現代においては、さらに高度な文明が、いやがうえにも地域社会の中に浸透しつつあり、一方、迫りくる高齢化社会や長期的な景気の低滞など、私たちがとりまく状況は厳しいものがあります。

しかしながら、時代は時代をこえ、人は人をこえて、来たるべき未来を切り開くものであり、困難が多ければ多い程、それを打開するための人の知恵が結集

富士川町第二次総合計画は、来たるべき21世紀を展望し、昭和61年から70年までの10年間、富士川町が進むべき基本的な方針や施策の大綱を定め、これを具体化し実現するための計画で、昭和59・60年度にわたり策定されるものです。

町では、昭和53年に富士川町総合計画

を作成し、計画的な町づくりを進めてきましたが、この計画が来年度で終了するため、これまでの成果と反省の上に立つて、町職員によって作成される計画案の中に、みなさんの幅広い意見を反映させ、総合計画審議会に諮問し、答申を受けて、昭和61年度から実施されるものです。

### 計画策定の趣旨

され、よりよい方向にむけられていくと、私は考えております。

このたび、富士川町第二次総合計画を作成する目標となるのは、私たちのまち「富士川町」が、将来にわたり町民だから愛され、住んでいてよかったと思えるまちづくりなのです。このためには何が必要なのか、この問いかけから、まずはじめなければなりません。

現在進めております富士川町総合計画も来年度で終了となりますが、この計画の中で何が達成され、何が未解決なのかを、もう一度よくかみしめてみなければなりません。

今後、この計画づくりに関して、多くの皆さんのご意見、ご協力をいただき、現総合計画にもまして「明るく豊かな住みよい町づくり」が進められることを期待し、お願いするものであります。

昭和53年に策定された現行の総合計画は、昭和48年に基本構想が、また、昭和53年に基本計画が作成され、昭和60年を目標に、みどり清流があり、住みよさと生きがい創造できる「明るく豊かな住みよい町づくり」を基本として、みなさんとともに、この計画を進めてきました。

この間、私たちをとりまく社会的な動向は、オイルショック以来の長期的な経済の停滞のもとに、行政や町づくりが地方主軸型を目ざし、厳しい財政環境下での積極的な改革が叫ばれることとなりました。

一方、私たちの生活においても、高齢化社会への移

### こんな町づくり



大久保道子さん(富士松野)

緑の木立ちと道べの花...ドライブの目と心をどんなにうるおしてくれていることでしょう。田を歩けばあぜ道に澄んだ水音がして、水の豊かさに神様の恵みの心を感じます。中野の県営住宅造成地も一年前は、子どもとかまきりの卵を見つけるのが楽しみな道でした。



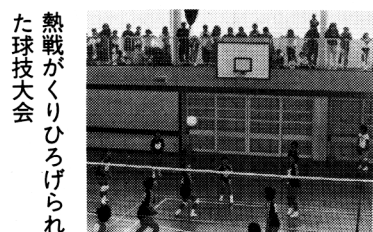
渡辺幸一さん(堺 町)

最近公害に対する関心は非常に薄れてしまっています。はたして公害はなくなったのでしょうか。昨年、私の家の銅製の雨樋は、いたる所に穴があいてし



**松野地区  
子ども会球技大会が  
盛大に**

5月22日、二中グラウンド、体育館で「松野地区子ども会球技大会」が行われ、男子はソフトボール、女子はバレーボール種目にそれぞれ8チーム参加し、一日中熱戦をく



熱戦がくりひろげられた球技大会

りひろげました。応援にかけつけた、父母などは、子どもたちのハッスルプレーや珍プレーに、さかんに声援を送っていました。

**男子ソフトボール**

優勝 富士松野  
2位 大北町  
3位 俣下町

**女子バレーボール**

優勝 八幡町  
2位 南町二区  
3位 南町一区

## わだいの

### 消防団本部指令車 「井上号」が引退



6月かざりで引退する「井上号」

町内で発生する火災や水害防護活動の要として、また、火災の多発期には防火の呼びかけ広報車として、17年間にわたり活躍してきた消防団本部指令車のジープ「井上号」が、6月かざりで指令車の役目を退くことになりました。同号は、町消防団（久保田敏男団長・団員125人）活動に深い理解を示された、名誉町民の故井上俊夫氏から昭和43年に、団に寄贈された車です。

指令車は、7月からライトバン型の新車になります。

### 町職員の異動（6/1付）

◇課長  
（新職）氏名（旧職）  
出納室長 池谷勲夫 民生課参事  
（新職）氏名（旧職）  
民生課 高岡英二 管理検査課

◇主事

### 地震ひとロメロ 地震時のつつさの行動

「グラッ」ときた時に、家の中にいる人は、落ちついて次のような行動をとることが大切です。

①「まず火の始末を」被害を最少に抑えるうえで一番大切な行動です。②「火を消せ」「戸を開ける」などと声をかけあうことが、恐怖のため放心している人に立ち直りのきっかけを与える。

から県政についての意見や提言などを積極的にのべてもらい、どの地域にどのような課題があるのかを常に把握し、県民の生活に密着したきめ細かい県政を推進していくことを目的としています。



小林正子さん54  
(幸 町)



錦織孝臣さん49  
(八幡町)



渡辺秀明さん34  
(旭 町)

6月4日(月)県総合庁舎において第一回懇談会が行われ、町長から推せんされた、渡辺・錦織・小林さんに、県知事からの委嘱状が手渡されました。

今後2年間、わたしたちの町の代表として県知事に直接意見をのべていきますので、みなさんの近くで問題になっていることがありましたら、県政モニターにご連絡ください。



長谷川悠治さん(73)  
(坂 下)

長谷川さん長い間  
「苦勞さまでした」

昭和28年から31年間にわたり、交通事故防止の推進役として、また、模範運転手として交通事故撲滅運動に努められてきた長谷川さんが、3月31日で民間交通指導員、交通安全協会富士川分会長を退任され、今後は、同会の顧問として活躍されることになりました。

退任にあたり長谷川さんは「長い間交通安全の仕事をしていただきましたが、今の運転手さんはゆずり合いの気持が欠けてきていると思います。今後はオブザーバーとしてみなさんとともに、事故防止に努めていきたい」と話していました。



石川文夫さん(60)  
(清水町)

石川さん・太田原さんが  
県知事感謝状を

「第31回静岡県更生保護大会」が、5月23日(水)島田市で行われました。席上、長年にわたり保護司として、地域での犯罪予防や浄化活動の推進に積極的に努めてこられた、石川・太田原さんの功績に対して、県知事から感謝状が贈られました。

## 町の

### 女子ソフトボールチーム 「富士川フレンズ」

県予選で3位に

4月15日(月)天竜川公園で県内12チームが参加して行われた「第4回全国家庭婦人大会県予選(スローピッチの部)」で、女性ソフトボールチーム富士川フレンズ(多芸弘子主将、部員16人)が大活躍し、第3位になりました。

同チームは、5年前に町内在住の23歳から36歳までの既婚者で結成され、高橋友一監督の指導のもとにナイター施設を利用しての練習をかさねる大会にのぞみました。準決勝では優勝した清水市代表チームと熱戦を展開し、3対5で惜しくも敗れてしまいましたが、今後行われる県スポーツ祭や家庭婦人大会での活躍が期待されています。



富士川フレンズのみなさん

### 5月の 人身・物損事故 異常に多発



スピードの出しすぎにより横転したトラック

5月町内では、人身事故14件(6)、物損事故8件(2)、合計22件(8)の交通事故が発生し、15人(6)が2週間から1カ月の怪我をしました。(一)は昨年発生した事故のうち、16件は富士川身延線と町道で発生しています。

また、これらの事故のうち14

### 渡辺・錦織・小林さんが県政モニターに

開かれた県政を進めるために、静岡県では、県知事が直接みなさんと話し合う知事広聴、みなさんの意見を調査する世論調査、県政に対する意見・要望を寄せる窓口としての県政私書箱の設置など、

組織的に、県民として自由な立場

件の人身事故の主な原因は、子どもの飛び出し、酒気おび運転、乗用車と原動機付自転車双方の徐行違反、乗用車の不確認などで、子ども、自転車、自動二輪車、原動機付自転車、関係した事故が多かったのが特徴です。

このように昨年度に比べると人身、物損事故が異常とも思える急激な発生をめています。これらの原因の一つは、私たちの危険に対する意識の甘さや交通モラル軽視の風潮にあると思われるので、常に、歩行者や運転者はおたがいに「ゆずり合い」や「思いやり」の心をもって、加害者や被害者にならないよう、十分な注意が必要です。





## 秋の一日

一小6年(宮町)高木美菜子さん

ここ、富士川町の近くには、まだ自然が残っていますし、家にいながらにして、春はウグイスの声が聞け、梅雨の近い今頃は、雨ガエルの大合唱でにぎやかな夜もあります。

わが家の玄関を開けると四季それぞれのすばらしい富士山が見えますが、去年の秋、「富士山自然休養林」の新聞記事を読んで、良く晴れた日曜日、家族4人でお弁当を持って、ハイキングに出かけました。紅葉の「富士山スカイライン」を車で走り、標高100mの「表富士グリーン

や小動物もいるのでしようが、自然のままにあるのが、すばらしいことだと思いました。

## 山道の散策は

小さな発見や体験があります

八幡町 松尾保子さん(34)

わが家での、身近な戸外での楽しみ方といえば、やはり手の届く近きにある松野の山へ、家族や近所の人たちと出かけることでしょう。

まず、春はもつばら、ふき、わらび、のびるなどの山菜を取



り、味わうことが何よりの楽しみとなります。

また、今頃から咲く直径20cm以上もある山ゆりを初め、名も知らないたくさん草花や、時には小さな生き物との出会いも楽しみの一つです。

そうして歩く道すがら、子どもたちに、私たちが小さい頃、草や葉などを使って遊んだこと

を覚えてやります。例えば、笹舟、木の葉の笛、おぼこのくき遊び、ヤエモグラなどの葉を服にくっつけたりと、さもないことで子どもたちは結構喜んでやり、私たちが童心にかえって一緒に遊びます。

以前子どもが、冬の山道で初めてつららを見て感激し、それを手が冷たいから服の間にに入れて持っていたら、とけてしま「冷たい」と騒いだことがありました。

こんな小さな発見や体験がある山道の散策は捨てがたく、これからも出かけるつもりです。

私の戸外での楽しみ方といえば朝のジョギングです

新町 森山幸子さん(47)

子どもが小学生の頃は、2泊3日のキャンプを夏休みに行うのが慣例でした。テント、ゴムボート、寝袋、食料を車に積み込んで出発。富士五湖の西湖がお気に入り、観光化されていない大自然の中で、思う存分遊びまわりました。

中3と高3になった子どもたちは、もう親と同一行動はとらなくなり、少しばかりのみかん山がある

## 毎年、家族で実家の山へ

ワラビなどをとりにいきます

宮町 加藤博美さん(39)

わが家の自然との親しみ方は特に珍しいというものでありませんが、幸い主人の実家が兼業農家のため、ミカンを中心に四季おりおりの野菜や果物の種まきから取り入れまでひと通りのことを、子どもといっしょにやっています。と言っても実家の手伝いですが、それにしても比較的簡単に恵まれたわが町で

もうちのように土いじりや収穫が実際にできるのは、良い方ではないかと思えます。うちの子どもでも、キュウリやトマトは夏の野菜だということを知りま

せん。かううじて、ミカンは秋から冬に収穫するものだとして知っているぐらいです。ですから、春の野草摘みが特に季節感が強く

楽しみで、毎年実家の山へワラビ、ゼンマイ、フキ、野ビルをとりに一家で出かけます。その頃は夏ミカンが食べ頃で、そ

ちらの方が子どもたちは楽しみのようですが、日がな一日、大きな桜の木の下で楽しめます。

冬の間、運動不足だった体は、次の日、きつと痛み出すでしょう。

投稿者へ



秋山由美子さん  
(二小5年)  
(富士松野)

7月のテーマ  
夏休みの計画

私の夏休みの目標は、クラブをがんばることです。もう一つは、毎年行く旅行のことです。

4年生からトランペット隊に入っていますので、夏休みにすると二学期の運動会のために練習があります。

去年は最後の一日を休んでしまいましたが、今年

は、暑さに負けず、休まずにがんばりたいです。運動会の「クラブ発表」の時

には、みんなが喜んで聞いてくれるような曲を

上手にえんそうできるように、なんてむずかしい目標を持っています。

もう一つの旅行は、今までポルトピア、明治村、京都などいろいろな所へ行ってきました。家族をはじめ、祖母やい

とこと大ぜいで、ワイワイして行くのは、家族4人で行くのとちがいが楽しい時間がずうっと短かく感じられます。今年はどこへ行くのかな？

この他に、プールへ行っておもいきり楽しんだり、勉強、研究などもはりきって力いっぱいやり、いい思い出がたくさん残る夏休みを作ってみ

たいです。今年も去年までより計画が多いけれど、私なりに一生けんめいがんばるつもりです。

夏休みの計画

◎字数 400字づつ原稿用紙一枚以内

◎締切日 7月9日(月)まで

◎投稿先・問合せ先 富士川町役場・総務課 岩淵121番地

◎注意事項 匿名者の原稿は掲載しませんから、必ず住所・氏名・年齢を記して、締切日までに投稿してください。



7月のテーマ

夏休みの計画

◎字数

400字づつ原稿用紙一枚以内

◎締切日

7月9日(月)まで

◎投稿先・問合せ先

富士川町役場・総務課

岩淵121番地

◎注意事項

匿名者の原稿は掲載しませんから、必ず住所・氏名・年齢を記して、締切日までに投稿してください。

ので、夫は趣味の野菜作りとみかん畑の手入れに日曜日、精を出しています。自然の中で汗を流すのが何よりのストレス解消法とみえます。私も時々手伝いますが、あまり熱心ではありません。

私の戸外での楽しみ方といえば、朝のジョギングです。時間にしたらたつたの15分ですが、毎朝6時前後、慈林寺の前を通り、東名のトンネルをくぐり、坂道をのぼり、橋を渡り、川坂へ下るコースは、変化に富んだ大好きなコースです。茶畑の芽を眺め、名も知らぬ野の花に立ち止まってみたり、毎朝違う表情の富士山を仰ぎつつ、一人とことこ走るのは面白いですよ。

## 子どもたちと一緒に

よく山歩きます

八幡町 川口たか子さん(32)

自然がいっぱいの、この松野に生まれた私は、山歩きが大好きです。今は子どもたちも大きくなり、一緒によく出かけます。

すこし遅く山菜の季節がやってきた今年の春、子どもたちをつれて山菜取りに出かけました。ゼンマイ、ワラビ、タラノメ、

その他いろいろ、山の物は食べられないものの方が少ない位、いろいろ食べられます。

小さな時から山歩きをしていく子どもたちの方が、先に見つけて取ってくれますが、毎年一種ずつでも植物の名前を覚えてほしい、そんな気持ちでいます。

日曜日には、友人の家族と一緒にお弁当を持って車で出かけます。今年は早くから川でカニを取り、家で飼っています。

子どもたちはこの自然の中のびのびと大らかに育ってほしいと思います。

いつまでも松野の自然が残っていてほしいですね。

## 近くの河川敷を

利用しています

木島 芦川由希子さん(33)

6月2日(土)、子どもたちも参加して、区民による木島河川敷の整備や清掃が行われました。バレーコート、ゲートボール場、テニスコート、野球やソフト

ボールのできるグラウンドなどの施設があり、子どもからお年寄まで運動に、また、遊びに利用しています。

ソフトボールやバレーボール大会があると、大人はゲームに



汗を流し、子どもたちは応援にまわり、あきてしまうと、おにごっこや自転車遊び、虫取りに草花集めなど十分に楽しむことができます。

水道も有り、これらだと休日を利用して、グループでキャンプやバーベキューパーティを楽しむます。シロツメ草などの野草も多く、クワガタやバッタなどの昆虫もいて、まだまだ、自然を楽しむことができます。

区民大会は、このグラウンドで

熱戦が展開されます。終了後は参加者全員でゴミ拾いが行われます。常に思うことです。公共の施設利用は、おおよそ雑にならないことが、ときどきあります。

区民が大切に使用しているこの河川敷、これからもみんながいつも気持ち良く使用できるようにしていただきたいと思います。



**清正公さんの七観音**  
南松野、根方に珍しい加藤清正公を祀った清正公さんがある。伝えによると嘉永年間(1848)〜(1854)に根方区の有志が熊本まで出向いて勧請されたものであるといわれている。この境内に7体の観音が建立されている。この観音はもとは村境の風の宮の南側の題目供養塔等と共に安置祀られていたものを、戦争中の昭和14〜15年頃、故あってかこの七観音のみ現在地に移転再建されたこととあり、その折の手違いか、一部台座と像部が違つて組み合わされて建立されてしまったようである。

聖観音、准胝観音、勢至菩薩、千手観音の4体は光背を持った浮彫像で、馬頭観音、十一面観音、如意輪観音は丸彫像で共に反花座、蓮華座の上に座している像高60cm〜80cmの石仏であるが、風化がはげしく破損もあつてそれぞれの特徴がハッキリしない。造立紀年銘はなく、いつ頃の造立か不明であるが、近くにある寛延四年(1761)辛未年九月吉日(175)南松野村名主望月与五兵衛共重によつて造立寄進された石燈籠があるの、あるいは七観音造立との関連があるかも知れない。いずれ

南松野根方バス停から南、山手に入ると間近である。  
(芦川守正)



## ふるさと探訪

石仏巡礼(十)

### 清正公さんの七観音

**建造物 富士川町地方歴史民俗資料館**  
昭和46年1月28日指定  
指定番号 3号  
老人福祉センター(相生町)の向いに、かやぶきの大きな古民家があります。この建物が昔、町内で使用された民具などを収蔵している民俗資料館です。  
この民家は、南松野桑木野の大家と呼ばれている稲葉源一さんの旧宅で、今から約230年から260年前に建てられたといわれ、昭和46年に稲葉さんから寄贈をうけた町では、現在地に、昭和47年3月に移築復元しました。  
間口6.5間、奥行4間、建坪26坪で、8畳4間、土間10坪というように田の字型の間取りをしています。  
この建物を構成している柱材は、樺19本、栗6本、椎2本、松1本合計28本、すべて手斧仕上で、大黒柱を中心に、小黒柱、えびす柱と並び、家の構造上の主要部となり、この上



## 富士川町地方歴史民俗資料館

まちの指定文化財(七)

にかる、梁、桁とともに自然木の特長を生かした曲線、強度など最高に活用されています。屋根はかや葺きの入母屋造りです。この屋根を復元するために約2900束のかやが使用されました。  
このように、この建物は、構造、外観ともに富士川下流域の農家の典型的な姿を残している大変貴重な建造物です。  
この資料館に収蔵されている民具は、すべて町内で使用されたもので、衣食住関係の資料56点をはじめ約200点以上のものが収められています。

## ママさん記者が取材中



「富士川町更生保護婦人会」

「防ごう非行、助けよう立ち直り」をスローガンとして、7月に入ると全国一斉に「社会を明るくする運動」が始まります。今月号では、この運動に協力している「富士川町更生保護婦人会」を紹介します。

青葉のすがすがしい5月30日(水)、私たち広報モニターは、老人福祉センターで会長の植松美江さん(相生町)にお話をうかがいました。

同会は、ボランティア精神を持ち、婦人の立場から地域犯罪の予防や非行少年の更生保護に

協力することを目的とした会で、全国更生保護婦人会が昭和38年10月結成されたのに伴い、2ヵ月後の同年12月、町婦人会の中に県更婦会庵原地区富士川支部として発足し、39年度から土井せつさん(旭町)を会長に再発足し、会員33人で保護司会と連絡をとり合いながら、地道な活動を展開しています。

同会の活動は、非行防止などの啓蒙運動として、昨年は、相生町・富士美台・南松野公民館でミニ集を開き、みなさんの理解と協力を求めました。今年も、昨年実施できなかった地域でのミニ集を計画していますので、みなさん参加してください。また、社明運動月間には、青少年の非行防止を呼びかけるとともに「愛の募金」(一戸100円)を、みなさんの暖かいご理解と区長会の協力によって行います。その他、会員による少年院などの施設慰問は、更生に励んでいる人々を激励し、日用品や衣類などを贈り大変喜ばれています。これらの活動の他に、更生保護大会への参加、保護司会との合同研修会などがあります。



植松会長さんにインタビューする広報モニター

広報モニター 芦川由希子

## ▼社会教育(地域学習)の課題▲

### マナーを考える

のでしょうか。

先月、5月20日の日曜日、河川敷スポーツ広場の草とり石拾いの奉仕作業が行われました。当日、早朝にもかかわらず参加いただきました方々には厚くお礼申し上げます。

先日のスポーツ広場の奉仕作業に集まった人の中からさえ「軍手はないのか。」

「朝めしは出ないのか。」  
「こんなことをやらされるならこれから使うのをよすか。」  
などの声があつたのです。日頃自分たちが使っている場所を、たとえ、要請あつて参加したのであっても奉仕作業をしようとしたのですから、その考えを転換しなくてはと思うのです。

荒れていることを他にその責任を求めたり、批判する前に、自分の手を汚してきれいにしてしまうという思いを持たないのでしょうか。

「気づばり」とは最近よく使われることばですが、単に人に対してのみでなく、自分たちの環境すべてにはらわれるものだと思います。  
使う前の自分たちの安全のための気づばりを使った後の次の人のための気づばりを心掛けたいと思うのは、けつして私だけではないと思うのですが。

自分の物はきちんとするがみんなのものは自分がやらなくともという意識がはたらく

# 戸籍の窓

S 59・5・15・5・31届出分  
(敬称略)

## おめでた

区名	氏名	保護者続柄	小池	杉本	健	光男	二男
相生町	塩澤康明	求	長男	富土松野	小堺雄太	博方	長男
上町	望月祐司	賢司	二男	清水町	稲葉沙織	孝幸	長女
旭町	内川麻衣子	久雄	長女	〃	望月政治	實	長男
堺町	清水清香	久夫	長女	〃	石田貴士	幸保	長男
川坂	小笠原 瞳	宏幸	長女	大北町	望月慶太	貢	長男

## 一里塚



最近、職場内で健康についての話が、よく交わされます。「体のどこかに、しこりがあったら要注意。20代でもガンになった人がある。」等々。前々から胸のしこりが気になっていた私は、いつそう不安が募るのです。 「ただ思い悩んでいても仕方がない」と思い、病院でみてもらったところ、第一次検査では「異常なし」ということでした。しかし、しこりのあることは確か

なので、しこりを取り除いて詳しく調べてもらうことになったのです。

真つ白な広い部屋の中央に手術台。その頭上には、幾つも目のあるようなライト。目隠し、局部麻酔。「うわあ、すごい。」 ワクワドキドキした心境の中、生まれて初めての手術は無事、終わりました。幸い、しこりは良性の物と分かり、やっと肩の荷がおりました。思いきって病院に行つて、良かったと思うと共に、今後も健康管理には、気を配りたいと思いました。

町名	氏名	年齢	社会福祉協議会事業寄付金
上町	大村シン	八五	S 59・5・14
川坂	持田たきよ	六六	三十万円
宮町	若月吉次郎	八〇	社会福祉事業費へ
〃	望月恒策	六三	篠田彌天(相生町)
〃	望月みね	七二	S 59・4・11
富土松野	清水清久	六二	五十万円
清水町	渡邊宜松	六六	蒲原ライオンズクラブ
〃	渡邊初美	六二	善意銀行へ寄付
大北町	蓮池伴作	八五	S 59・5・18・5・22

## 町への寄付金(敬称略)

健康面には、留意したいですね。太陽の季節に向かって、また、ひとがんばり! (T・I)

## かなしみ

### お母さんの知恵袋

毎年5月の中旬頃になると、しほりたてのハチミツがあちこちの店頭で顔を出します。

健康食品の一つであるハチミツは、世界中でこの価値を認め「ハチミツの歴史は人類の歴史」とまでいわれています。

ハチミツには、おそろしく強力な殺菌力があります。ハチミツの中に赤痢菌を入れますと10時間で死滅し、チフス菌は48時間、大腸菌も48時間で死んでしまいます。

例えば、はちに刺されたら、すぐにハチミツを塗ると、痛みやはれもなく治るのもそのためです。

また、10種類のビタミンが含まれ、総合ビタミン源として、野菜や果物とは比べものにならないといわれています。そしてセキドめの特効薬として大へん重宝です。ハチミツ大さじ三杯に、薄切りしたレモン一枚を半カップのお湯でうすめたものを一日2、3回飲みます。風邪薬を飲む前に一度ためしてみてはいかがですか。

## 富士川短歌会

五月詠草(天野寛遠)

四十九町 辻 すみじ  
一滴の水なき川の土手にたち七夕豪雨のすこさを思ふ  
本通一 長橋 安子  
ひと本の樟の若葉の萌え出でて古葉しきりに落つる寺院  
小池 佐藤 ちよ  
給ひたる七粒ほどの綿の種日あたる畑の隅に蒔きたり  
宮町 若月 幸江  
萌えそむる林の中に鮮やけし幾房か垂るる藤のむらさき  
四十九町 入月 弘子  
ボンネットに桜花びら数つつけて八百屋の車は路傍に商う  
宮町 荻野 敏音  
神棚の神の白き芽日毎伸ぶ朝々ともす燈明にはえつつ  
木島 角替千鶴子  
農作業に追われし日日をひさびさに家内整理す今日雨降りて  
相生町 長谷川ゆり子  
水底にかがり火うつる春の宵能の舞台は敦盛を舞う  
四十九町 塩川恒子  
孫の守り解放されし今日一日心せわしくみかん接ぎ木す  
相生町 藤沼 満  
若葉風庭の小枝にそよぐ昼落葉にかくれぬ蛙一匹